

1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

簿記会計

試験問題用紙

(2021年1月)

注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った受験番号を記入すると採点できませんので、解答した内容はすべて無効（得点なし）となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は、解答用紙の該当する問題の解答欄に楷書で記入してください。
6. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外（万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等）は使用不可です。
7. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
8. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
9. 試験時間は正味50分です。
10. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
11. 試験時間中の私語は禁止します。
12. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
13. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
14. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
15. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

一般社団法人 日本損害保険協会

記述式の問題です。解答は楷書で解答欄へ記入してください。

【問題 1】

次の 1～5 の取引の仕訳を解答用紙に記入してください。

なお、勘定科目は下記の勘定科目表から最も適当なものを選んでください。

1. A 商店にかねて販売を委託してあった商品（仕入原価 700,000 円）について、同店から売上計算書とともに、手取金 980,000 円の振り込みが当店の当座預金口座にあった。なお、A 商店に販売を委託した際に、積送諸掛 20,000 円を現金で支払っている。ただし、売上原価の処理も行うこと。
2. かねて、商品代金として B 商店に裏書譲渡していた C 商店振り出しの約束手形が期日に不渡りとなり、償還請求を受けた。よって、手形金額 400,000 円および期日以後の利息 1,000 円を小切手を振り出して支払い、同時に C 商店に償還請求を行った。なお、この手形を裏書した際に手形額面金額の 1% の保証債務を計上している。
3. 第 9 期初頭に備品を 900,000 円で買い入れた。この代金はこれまで使用してきた備品を 300,000 円で引き取らせ、新しい備品との差額は小切手を振り出して支払った。ただし、この旧備品は第 7 期初頭に 800,000 円で買い入れたもので、定率法により毎期の償却率を 25% として減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。なお、新旧の備品の取得原価は相殺しないこと。
4. かねて建設を依頼していた建物が完成し、引き渡しを受けたので、建設代金 50,000,000 円を小切手を振り出して支払った。なお、取締役会の決議により、新築積立金 50,000,000 円を取り崩した。
5. 自己株式 20 株を 1 株につき 60,000 円で売却し、受け取った代金は当座預金とした。ただし、売却した自己株式の帳簿価額は 1 株 50,000 円であった。

《勘定科目表》

| | | | |
|-----------|---|---------------|---------------|
| 現 | 金 | 当 座 預 金 | 受 取 手 形 |
| 売 掛 | 金 | 不 渡 手 形 | 積 送 品 |
| 建 | 物 | 建 設 仮 勘 定 | 備 品 |
| 備品減価償却累計額 | | 保 証 債 務 | 資 本 準 備 金 |
| その他資本剰余金 | | 利 益 準 備 金 | 新 築 積 立 金 |
| 繰越利益剰余金 | | 自 己 株 式 | 売 上 |
| 保証債務取崩益 | | 固 定 資 産 売 却 益 | 仕 入 |
| 固定資産売却損 | | 保 証 債 務 費 用 | 固 定 資 産 除 却 損 |

【問題2】

K S 製作所における製造間接費に関する下記の資料から、次の1～5の金額を求めてください。ただし、差異を求める問題に関しては、その差異が借方差異の場合のみ、金額の前にマイナス（－）の符号をつけてください。

1. 製造間接費の予定配賦率
2. 製造間接費の月間の予定配賦額
3. 製造間接費配賦差異
4. 予算差異
5. 操業度差異

<資料>

月間の基準操業度(直接作業時間) 8,000 時間
月間の製造間接費変動予算 2,000,000 円(変動費率 1 時間当たり 100 円)
月間の固定費予算額 1,200,000 円
当月の実際操業度(直接作業時間) 7,800 時間
当月の製造間接費の実際発生額 2,060,000 円

【問題3】

次の元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項に基づき、損益計算書と貸借対照表を作成し、空欄の1～15に当てはまる金額を解答用紙に記入してください。ただし、決算日は令和3年3月31日とします。

〈元帳勘定残高〉 単位：千円

| | | | | | |
|-------|--------|---------|-------|----------|--------|
| 現金 | 1,300 | 当座預金 | 2,300 | 受取手形 | 800 |
| 売掛金 | 2,280 | 貸倒引当金 | 50 | 売買目的有価証券 | 2,000 |
| 繰越商品 | 11,000 | 仮払金 | 700 | 建設仮勘定 | 4,000 |
| 備品 | 6,000 | 減価償却累計額 | 2,400 | 子会社株式 | 5,000 |
| 支払手形 | 500 | 買掛金 | 1,300 | 手形借入金 | 300 |
| 借入金 | 1,600 | 退職給付引当金 | 550 | 資本金 | 17,000 |
| 資本準備金 | 300 | 利益準備金 | 200 | 繰越利益剰余金 | 200 |
| 売上 | 77,000 | 受取手数料 | 100 | 仕入 | 49,000 |
| 給料 | 15,000 | 広告料 | 590 | 支払家賃 | 800 |
| 保険料 | 600 | 雑費 | 120 | 支払利息 | 10 |

〈付記事項〉

- ① 前期の取引で発生した売掛金 80 千円が回収不能となり、貸し倒れとして処理することにした。
- ② 仮払金 700 千円は、法人税等の中間申告納付額 500 千円、広告料の支払い 200 千円であることが判明した。
- ③ 借入金 1,600 千円のうち 1,000 千円は、決算日の翌日から 1 年を超えて返済期限が到来する。

〈決算整理事項〉

1. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 120 個 原 価 100 千円
実地棚卸数量 110 個 正味売却価額 90 千円
2. 貸倒引当金 受取手形と売掛金の期末残高に対して、それぞれ 2% 見積もる。
3. 売買目的有価証券の評価 売買目的有価証券 2,000 千円は、すべて D 社株式である。
D 社株式 50 株 1 株の時価 43 千円
4. 備品の減価償却 定額法により計算し、耐用年数 5 年 残存価額はゼロとする。
5. 保険料の前払高 保険料のうち 480 千円は、当期 10 月 1 日に向こう 1 年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
6. 家賃の未払高 家賃は毎年 5 月末と 11 月末に経過した 6 か月分を支払うことになっている。
7. 退職給付引当金当期計上額 100 千円
8. 法人税・住民税及び事業税額 3,000 千円

損益計算書

自令和2年4月1日至令和3年3月31日

(単位:千円)

| | | |
|----------------|-------|-------|
| I 売上高 | () | |
| II 売上原価 | | |
| 1 期首商品棚卸高 | () | |
| 2 () | () | |
| 合計 | () | |
| 3 () | () | |
| | () | |
| 4 () | () | |
| 5 () | () | () |
| 売上総利益 | | (1) |
| III 販売費及び一般管理費 | | |
| 1 () | () | |
| 2 () | () | |
| 3 支払家賃 | (2) | |
| 4 保険料 | (3) | |
| 5 貸倒引当金繰入 | (4) | |
| 6 () | () | |
| 7 () | () | |
| 8 () | () | (5) |
| () | () | () |
| IV 営業外収益 | | |
| 1 受取手数料 | () | |
| 2 () | (6) | () |
| V 営業外費用 | | |
| 1 支払利息 | () | |
| 2 () | (7) | () |
| 税引前当期純利益 | | () |
| 法人税等 | | () |
| 当期純利益 | | () |

貸借対照表

令和3年3月31日

(単位:千円)

| 資産の部 | | 負債及び純資産の部 | |
|---------|------------|-----------|------------|
| I 流動資産 | | I 流動負債 | |
| 現金預金 | () | 支払手形 | () |
| 受取手形 | () | 買掛金 | () |
| 貸倒引当金 | () () | () | (11) |
| 売掛金 | () | 未払法人税等 | (12) |
| 貸倒引当金 | () (8) | 未払費用 | (13) |
| () | () | II 固定負債 | |
| 商品 | (9) | 長期借入金 | () |
| () | () | () | (14) |
| II 固定資産 | | 負債合計 | () |
| () | () | I 資本金 | () |
| () | () | II 資本剰余金 | |
| 減価償却累計額 | () (10) | () | () |
| 関係会社株式 | () | III 利益剰余金 | |
| | | () | () |
| | | () | (15) () |
| | | 純資産合計 | () |
| 資産合計 | () | 負債及び純資産合計 | () |

<MEMO>

<MEMO>